

平成13年度

統計数理研究所 公開講座案内



データをどのようにして集めるか、そのデータからどのようにして本質的な情報を取り出すか、その方法を探る科学が「統計数理」です。統計数理研究所は大学共同利用機関として統計数理の理論とその応用の研究を行うとともに、開かれた研究所として統計数理の方法の普及活動も行っています。

当研究所の統計科学情報センターでは、研究者・学生・一般社会人を対象として、統計数理に関する公開講座を、以下の要領で開催します。どなたでも参加できます。

..... 統計数理要論A 資源管理のための統計分析

日 時 ●10月29日(月)～11月2日(金) 10時～16時(1日5時間、合計25時間)

開 場 ●9時30分

講 師 ●統計数理研究所 吉本 敦・島谷健一郎・鄭 躍軍
京都学園大学 内藤登世一 九州大学 福田 晋

申込締切日 ●9月21日(金)(当日消印有効)

講 習 料 ●8,800円(税込)〈受付を確認後、10月8日(月)～12日(金)の間に現金書留で納入〉

受講定員 ●50名(申込者多数の場合は抽選)

..... 統計数理要論B 数量化法入門

日 時 ●11月20日(火)～22日(木) 10時～16時(1日5時間、合計15時間)

開 場 ●9時30分

講 師 ●統計数理研究所 土屋隆裕・駒澤 勉

申込締切日 ●10月12日(金)(当日消印有効)

講 習 料 ●6,800円(税込)〈受付を確認後、10月29日(月)～11月2日(金)の間に現金書留で納入〉

受講定員 ●50名(申込者多数の場合は抽選)

..... 統計数理要論C 統計理論に関わる最近の情報通信の理論と実際

日 時 ●12月6日(木)～7日(金) 10時～16時(1日5時間、合計10時間)

開 場 ●9時30分

講 師 ●統計数理研究所 瀧澤由美・石黒真木夫
千葉大学 深沢敦司 北海道大学 宮永喜一

申込締切日 ●11月2日(金)(当日消印有効)

講 習 料 ●5,800円(税込)〈受付を確認後、11月19日(月)～23日(金)の間に現金書留で納入〉

受講定員 ●50名(申込者多数の場合は抽選)

受講手続 ●別紙「申込書」(専用往復書形式)に必要事項を記入(返信用に宛先を明記し50円切手を貼付)の上、統計数理研究所公開講座係にお申込みください。「申込書」は、1名1講座につき1枚必要です。同一講座に重複して申し込まれた分の「申込書」は、無効となりますので、ご注意ください。また、市販の官製往復書によるお申込みも無効となります。申込書が必要な方は、その旨封書でお申し出ください。その際は宛先を明記した80円切手貼付の返信用封筒(葉書が入る大きさで、定形23.5cm×12cm)を同封してください。●電話、メール及び直接持参によるお申込みは受付できません。●講習料は、返信書による「回答書」の送付を待って受付を確認された後、講習料納入期間中に納入してください。●釣銭のないよう定額を入れてください。

※この講座は、個人参加を原則としていますので、個人宛以外の領収書は発行しません。(宛先に会社名を含むことは可能です。)領収書の再発行はできません。また、請求書は発行しません。領収書等に関しては、会計課出納係(03-5421-8713)にお問い合わせください。なお、一度納入された講習料はお返しできません。

※修了証は発行しません。

※勤務先等に出席を証明する必要がある方は、受付にお申し出ください。

※また、都合上講座開講中の受講生への電話の取次ぎ等は御容赦ください。

※抽選の場合、同一企業からのお申込みは、10名までに限定させていただく場合もあります。当選された方は、ご本人のみ有効です。

※来年度以降の公開講座は、決定次第、順次、当研究所のホームページでご案内します。(アドレスは <http://www.ism.ac.jp/>)



文部科学省 統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

統計数理要論

平成13年度公開講座

統計数理要論A 資源管理のための統計分析

再生可能な資源の代表的なものは森林資源、農業資源そして漁業資源です。昨今ではWTOなどの会議において、その交渉の土台として定量的な分析結果を用いる場面が増し、資源管理における統計分析の果たす役割が重要視されてきています。本講義では、森林、農業、漁業の3分野での資源管理に焦点を絞り、それぞれの分野における統計分析・モデリングなどについて基礎となる手法・応用事例を簡単に解説します。なお、大学院修士課程レベルの方々を講義の対象としています。

1. 森林資源管理と数理モデル(吉本 敦 統計数理研究所)
(森林資源管理の概念、数理計画モデル、確率モデル)
2. 生物多様性の測定(島谷健一郎 統計数理研究所)
(生物多様性の概念、生物多様性の数量化、生物多様性指数の森林管理への応用)
3. 環境財評価と統計(鄭 躍軍 統計数理研究所)
(仮想評価法、コンジョイント分析)
4. 農業経済と統計(福田 晋 九州大学)
(農業経済におけるロジット分析・プロビット分析の応用)
5. 漁業の動学的経済モデリング(内藤登世一 京都学園大学)
(静学的漁業経済モデル、動学的漁業経済モデル、ゲーム理論モデル)

テキスト及び参考書は特にありません。当日、資料をお配りします。

統計数理要論B 数量化法入門

数量化法とは、カテゴリカルなデータを分析するために、当研究所の林知己夫元所長により開発された一連の方法の総称です。本講座では、数量化法について予備知識を持たない方々を対象として、諸手法の使い方を、事例を通して解説いたします。講座は全3日間です。最初の2日間は、各手法の目的や結果の見方、利用上の注意点について説明し、3日目は、受講者の方々に、実際にノートパソコンを使った分析を体験していただきます(パソコン自体の操作方法については、説明いたしません)。パソコンは2人で1台で、OSはWindows98です。テキストは、「新版パソコン数量化分析」(朝倉書店(1998年)、電話03-3260-7631、定価5,880円(税込)、駒澤勉・橋口捷久・石崎龍二共著)を使用いたします。テキストは、当研究所では販売していませんので、各自書店で購入してください。資料は当日お配りします。参考書は特にありません。

統計数理要論C 統計理論に関わる最近の情報通信の理論と実際

情報通信は、情報源からのメッセージ、通信路における信号と雑音等の統計的性質が注目され、それに基づいた研究が進められてきました。特に最近、有線から無線へ急速に通信路が転換されつつあります。そこでは有限な時間、周波数を有効に利用し、大容量、高速度の移動無線通信を実現する方法としてスペクトル拡散方式などが開発されています。

このコースでは情報通信に関わる統計学的基礎、符号化と変復調の理論と実際について平易に解説します。またこれらの方式のDSP化、LSI化のための最新技術についても解説します。

1. 情報通信に関わる統計科学
 2. 符号化と変復調の理論と実際
 3. スペクトル拡散変調を用いた移動無線
 4. DSP, VLSI, FPGA-VLSIの設計理論と実際
- テキストは特にありません。当日、資料をお配りします。



統計数理研究所公開講座係

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7
TEL. 03-5421-8720, 03-3446-1501(代)

地下鉄/日比谷線広尾駅から徒歩約7分

バス/(都06) 渋谷駅前—光林寺前—赤羽橋駅前—新橋駅前
(橋86) 目黒駅前—天現寺橋—広尾橋—愛育病院前—新橋駅前
(品97) 品川車庫前—品川駅前—光林寺前—広尾橋—信濃町駅前—新宿駅西口
(黒77) 目黒駅前—天現寺橋—広尾橋—西麻布—千駄ヶ谷駅前

※太字駅で下車